（一社）日本臨床耳鼻咽喉科医会
令和 6・7 年度第 11 回理事会議事録摘録
日時： 令和 8 年 3 月 22 日（日）13:00～16:10
場所： 日本臨床耳鼻咽喉科医会　会議室
出席者 会長：川嵜良明　副会長：川島佳代子、野上兼一朗、藤岡　治
理事：朝比奈紀彦、麻生　伸、阿部博章、市川菊乃、大滝　一、塩見洋作、玉木克彦、
中川尚之、中澤　宏、永田博史、春名真一、松岡　徹、吉村　理
（Web 参加）宮部和徳、横田雅司
監事：浅井英世、髙原哲夫（計 21 名）　事務局：井出あゆみ、平間妙子

会長挨拶

花粉症診療でお忙しいなか三連休の最終日に参集いただき感謝申し上げる、今回の理事会では来年度の予算及び事業計画が主体となるが、報告事項も多数のため円滑な運営にご協力をお願いしたい。

協議事項

1. 医療安全・感染防止講習用動画リストの追加について（塩見理事）
(1)医療安全・感染防止講習用動画リストは、従前のリストに各動画の概要説明を付記するとともに新規作成分と統合した改訂版である。新規掲載項目に「New」と表示し臨床耳鼻科医会 HP に掲載することが承認された。
(2)医療安全対策及び感染防止対策研修は医療機関の義務であり、臨床耳鼻科医会 HP での掲載のみならず会員一斉メールにて周知を行うことが承認された。
2. 令和 8 年度事業計画案について（松岡理事）
(1)各委員会より提出された令和 8 年度事業計画案を庶務委員会にて定款に則った項目毎にまとめた。事前に内容を委員会担当理事に確認していただき、一部修正した案を理事会で協議した。表現内容の一部修正を行ったうえで承認された。
(2)事業計画の分類の大項目は定款第 4 条の項目に則って記載する。また、各項目の担当委員会につき略称で表記することとなった。
(3)事業計画案につき代議員会資料とし、次年度より事業報告も事業計画に則った報告とすることが承認された。
3. 令和 8 年度収支予算案について（塩見理事）
(1)経常収益計は 7,554 万 5,000 円を見込んでいる。前年度予算と比較して 149 万 1,000 円の減であり、前年度に計上されていた記念式典祝賀会に係る会費収入及び御祝金が本年度においては計上されないことが主たる理由であると報告した。主たる収入は会費収入であり、A・B・C 会員並びに賛助会員をあわせて 7,474 万 7,000 円の見込みであると報告し、承認された。
(2)支出について、事業費は 2,319 万 6,850 円、管理費は 4,247 万 6,300 円の計 6,567 万 3,150 円となり、当期経常増減額は 987 万 1,850 円の見込みであると報告し、承認された。
4. C 会員への異動希望者について（松岡理事）
3 名の会員より C 会員への異動希望があり、承認された。
5. 司法書士との顧問契約について（松岡理事）
現在、中野千代子司法書士とは規程作成時などの都度契約となっている。顧問契約について協議したが、従来の都度契約にて業務を依頼することが承認された。

6. 定時代議員会及び臨時代議員会の日時・場所並びに目的などについて（藤岡副会長）
(1)令和 7 年度定時代議員会と令和 8 年度臨時代議員会開催のお知らせとして招集通知を代議員に送付する予定であると説明した。
(2)今年は選挙年度のため臨時代議員会の開催が必要となり、日耳鼻の役員選出日程との調整が必要となることを説明した。
7. 認定補聴器技能者®のリーフレット（案）について（川嵜会長）
テクノエイド協会が認定補聴器技能者を増やすためにリーフレットを作成しており、内容につき意見を求められた。また、最終稿において~~項に~~資格制度の協力団体として臨床耳鼻科医会を~~の~~掲載することにつき検討を依頼された。協議の結果、協力団体としてリーフレットに掲載~~されること~~が承認された。

報告事項
1. 庶務委員会（松岡理事）
(1)令和 6・7 年度第 10 回理事会議事録（2025.12.21）について報告した。
(2)令和 8 年 2 月 28 日までの入会・退会・異動及び会員数を報告した。
①入会 63 件、異動 43 件、退会 28 件があり、令和 8 年 2 月 28 日現在、A 会員 4,168 名、B 会員 2,921 名、C 会員 6 名の計 7,095 名であった。
②令和 7 年 11 月 30 日からの会員数増減は、A 会員 12 名減、B 会員 6 名減の計 18 名減であった。
(3)令和 8 年 3 月 22 日現在のシクミネット導入状況について報告した。
①会員への第 1 回一斉メール配信を令和 8 年 3 月 13 日に実施した。翌週の医会長メールでメール配信を実施したことを報告した。
②各会員のマイページが完成しており、令和 8 年 5 月末にログイン用 ID と仮パスワードを会員に郵送する予定である。マイページへのログインは QR コードも掲載予定で、スマートフォンからもログイン可能であることを報告した。
③シクミネットを利用した会費徴収につき、5 県から臨床耳鼻科医会と県医会の同時会費徴収の導入申し出があったことを報告した。
2. 広報委員会（中澤理事）
特になし。
3. 経理・会員福祉委員会（塩見理事）
(1)令和 8 年 2 月末までの会計報告について報告した。
(2)通常の収入及び支出以外の事項について、耳鼻咽喉科健康診断マニュアル改訂版の印刷費、臨床研究スタートアップに係る補助金収入などにつき報告した。
(3)会費未納者への対応として未納会費の納入を依頼し、数名より会費納入があったことを報告した。
4. 地域医療員会（横田理事）
(1)令和 7 年度事業報告について報告した。
①「在宅医療スタートアップマニュアル」について検討した。
②「一般医のための耳鼻咽喉科救急疾患マニュアル」について検討した。
③災害医療の経験がある会員と Web ミーティングを行った。
④新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外来診療アンケート調査報告をまとめた。
⑤耳鼻咽喉科の在宅医療への積極的参入についてのアンケート調査報告をまとめた。

⑥軽度嚥下障害診療について検討した。
⑦耳鼻咽喉科外来医療経営基礎調査について検討した。
⑧第 127 回日耳鼻総会・学術講演会での未来ビジョンについて検討した。
(2)令和 8 年度事業計画および予算案について報告した。
①日耳鼻と合同で新型コロナウイルスが外来診療に及ぼした影響について引き続き検討を行う。
②地域医療の動向について調査研究を行う。
③災害医療のあり方について検討を行う。災害時に必要に応じて現地視察を行う。
④軽度嚥下障害診療の積極的勧奨を行う。
⑤耳鼻咽喉科医療の拡大に向けて検討を行う。
⑥耳鼻咽喉科外来医療経営基礎調査について検討を行う。
⑦在宅医療・訪問医療への積極的参入、地域医療を進めるシステム、往診キット等について検討を行う。
⑧第 127 回日耳鼻総会・学術講演会の未来ビジョンで発表を行う。

5. 保険医療委員会（玉木理事）
(1)令和 6・7 年度第 9 回日耳鼻・臨床耳鼻科医会合同保険医療委員会について報告した。
①報告事項
(ｱ)医薬品一時供給停止、販売中止と代替品について
(ｲ)令和 7 年度第 1 回医療技術評価分科会について
(ｳ)第 6 回日本医師会社会保険診療報酬検討委員会について
(ｴ)高額医療費などに関するアンケート調査の協力依頼について
(ｵ)ファイザー株式会社より送られた薬剤の一部効能・効果の削除に関する案内について
(ｶ)ドラッグ・ロス解消に向けた実態の把握及び情報整理に関する調査事業の協力依頼について
(ｷ)アスベリン錠の限定出荷解除について
②協議事項
(ｱ)オールジャパンプロジェクト WG の地域医療構想に呼応した活動について
(ｲ)保険医療委員会ワークショップ・全国会議の開催方法及びプログラム内容について
(ｳ)診療報酬改定伝達会議について
(ｴ)令和 7 年度事業報告資料と令和 8 年度事業計画・予算案について
(ｵ)『軽度・中等度難聴の診療の手引き』について
(2)令和 6・7 年度第 10 回日耳鼻・臨床耳鼻科医会合同保険医療委員会について報告した。
①医薬品の供給停止について報告した。
②高額療養費アンケート結果について報告した。
③診療報酬改定伝達会議の日程について通知することを報告した。
④第 20 回保険医療委員会全国協議会で未回答であった事項につき全国会議で回答することを報告した。
⑤第 9 回保険医療委員会以降の令和 7 年度の事業報告を行った。
⑥耳鼻咽喉科領域の算定強度と算定構造の地域差について報告した。
(3)令和 7 年度保険医療委員会ワークショップ及び全国会議について報告した。
①全国会議での厚労省医政局研究開発政策課の長谷川学課長の講演について報告した。
②保険医療委員会活動報告について報告した。

③ワークショップでの春名理事、川嵜会長の講演について報告した。

6. 学校保健委員会（朝比奈理事）

(1)第 2 回乳幼児・学校保健合同委員会について報告した。

①「こどもの言語発達スクリーニングうちわ」の作成ついて報告し、配布方法について検討した。

②小児気管切開児に対する切れ目のないサポートを目指し、第 127 回日耳鼻総会・学術講演会において「未来ビジョン 6. 耳鼻咽喉科医が守る子どもたちの未来 II〜歩ける気切っ子を支える」のタイトルで合同パネルディスカッションを行うことを報告した。

(2)令和 6・7 年度第 6 回、第 7 回学校保健委員会について報告した。

①日本医師会学校保健委員会にて、耳鼻咽喉科の立場から重点健診提案の経緯・留意事項などについて助言を行った。

②日本学校保健会にて、「難聴の予防・啓発指導資料」作成委員会が「難聴の児童生徒への聞こえの支援　令和 7 年度版」を作成していることを報告した。

③「耳鼻咽喉科健康診断マニュアル改訂第 2 版」について令和 8 年 1 月に発刊したことを報告した。

④令和 7 年度学校保健全国代表者会議並びに学校保健研修会について報告した。

⑤令和 8 年度学校保健全国代表者会議並びに学校保健研修会の協議内容について報告した。

⑥日本学校保健会ポータルサイトの「学校保健ポータルサイト関連ページ／耳・鼻・のど」の内容の見直しと修正について報告した。

⑦第 15 回子どもとメディアの問題に関する懇親会について報告した。

⑧定期健康診断未受診者への対応について報告した。

7. 福祉医療・成人老年委員会（大滝理事）

(1)令和 6・7 年度第 5 回日耳鼻・臨床耳鼻科医会福祉医療・成人老年合同委員会について報告した。

①第 51 回福祉医療サマーセミナー及び第 31 回補聴器キーパーソン全国会議の開催内容について報告した。

②第 52 回福祉医療サマーセミナー及び第 32 回補聴器キーパーソン全国会議の開催日につき報告した。

③第 1 回嚥下キーパーソン会議の開催内容について報告した。

④耳鼻咽喉科高齢者医療研究会の開催内容について報告した。

⑤第 127 回日耳鼻総会・学術講演会の「未来ビジョン 4. 軽度中等度難聴への取り組みを変えていこう－診療の手引きを読み解く－」の開催内容について報告した。

(2)補聴器助成の現状について報告した。

①助成実施自治体は 622 自治体で、全国の 1,741 自治体の 35.8%となり急増していることを報告した。

②Japan Trak2025 の内容について、本邦の補聴器普及率は 15.9%、助成受給率は全購入の 13%であることを報告した。

③委員会として 2030 年までに全都道府県での助成実施、実施自治体数は全自治体の半数を目指すことを報告した。

④委員会として Japan Trak の次回調査において装用率と助成率ともに 30%を目指すことを報告した。

8. 福祉医療・乳幼児委員会（麻生理事）

令和 6・7 年度第 12 回、第 13 回福祉医療・乳幼児委員会について報告した。
(1)新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査機関及び二次検査機関のリストを令和 8 年 3 月末までに日耳鼻ホームページで掲載予定であることを報告した。
(2)新生児聴覚スクリーニングマニュアルの改訂について進捗状況を報告した。
(3)WG の進捗状況について、以下の点を報告した。
①小児難聴教育 WG にて、「こどもの難聴基礎講習」のオンライン研修の内容
②中核機能 NHS-WG にて、「聴覚障害児支援中核機能強化事業」のアンケート調査の進捗状況
③小児気管切開 WG にて、気管切開児への実践マニュアル作成の進捗状況

9. 医療安全・医事問題委員会（阿部理事）
令和 6・7 年度第 6 回医療安全・医事問題委員会について報告した。
(1)報告事項
①医事問題委員会ワークショップ及び全国会議でのワークショップの形式について検討していることを報告した。
②第 40 回日耳鼻秋季大会における医療安全セミナーの内容について進捗状況を報告した。
③医事問題委員会ワークショップ及び全国会議のスライド活用について検討していることを報告した。
(2)医事問題委員会ワークショップ及び全国会議の開催について報告した。
①荒木幸仁委員長より第 40 回日耳鼻秋季大会での医療安全セミナーの内容について発言があったことを報告した。
②各領域における講演内容について報告した。

10. 勤務医委員会（永田理事）
(1)第 40 回日耳鼻秋季大会内の第 7 回医会セッションにて「勤務医のライフプランの立て方」について講演を予定していることを報告した。
(2)臨床耳鼻科医会 HP の「勤務医のページ」に以下の内容を掲載したことを報告した。
①第 2 回勤務医アンケート調査結果
②会報誌内の「勤務医のページ」
③日耳鼻マイページに掲載されている耳鼻咽喉科医師の求人情報のお知らせ
(3)臨床耳鼻科医会 HP の「勤務医のページ」が更新された際にメールで会員に周知することを検討する方針である~~こととした~~。

11. 学術委員会（吉村理事）
(1)令和 7 年度第 6 回日本臨床耳鼻咽喉科医会学術委員会について報告した。
(2)嚥下パンフレット簡易版を作成し、臨床耳鼻科医会 HP にて掲載予定であると報告した。
(3)臨床耳鼻科医会 HP の学術コラムについて作成を準備していることを報告した。
(4)第 40 回日耳鼻秋季大会内の第 7 回医会セッションの講演内容について決定事項につき報告した。
(5)一社）健康保険組合経営研究会より「耳の健康管理」について講演依頼があり、講師を推薦したことを報告した。

12. 会報委員会（宮部理事）
(1)令和 6・7 年度第 8 回、第 9 回会報委員会について報告した。
(2)会報第 6 巻第 1 号の発行スケジュール並びに総費用の見積もりにつき報告した。

13. 地域ブロック（九州ブロック、野上副会長）

「九州耳鼻咽喉科医会協議会」での協議予定の事項について報告した。
(1)ベースアップ評価料
(2)シクミネット
(3)かかりつけ医機能報告制度

14. 川嵜会長より
(1)保険診療ハンドブックの作成に着手し、デジタル化を進めていることについて報告した。
(2)第 19 回補聴器 3 団体朝食勉強会が開催され、臨床耳鼻科医会及び関連する学会より要望を提出したことを報告した。
(3)日本医療政策機構（HGPI）第 1 回、第 2 回アドバイザリーボード会合が開催され、「産官学民による日本の難聴課題における解決策の検討」を行ったことを報告した。
(4)厚労省より、「診療科偏在対策のための適切な遠隔医療等推進事業について」ヒアリングがあったことを報告した。
(5)オールジャパン WG で、難聴・嚥下・調査の 3 項目の研究課題について臨床耳鼻科医会より補助を行うことを報告した。
(6)日本臨床分科医会代表者会議に参加し、ヘッドホン・イヤホン難聴対策について紹介したことを報告した。

15. その他
(1)理事立候補者、監事立候補者ともに定員と同数のため選挙は実施されないことが報告された。（藤岡副会長）
(2)厚労省の難聴に対する積極的な取り組みの一例として、川崎市耳鼻咽喉科医会市民講座での厚労省社会・援護局障害保健福祉部企画課長の講演について報告した。（藤岡副会長）